

いい音
iine hikone
ひこ音

桜の花の下で

三味線を楽しもう！

三味線で演奏される音楽のジャンルはたくさんあります。
その中のひとつ、「長唄（ながうた）」は江戸時代に歌舞伎の伴奏音楽として発展したものです。
たくさんある曲の中で、今日は「元禄花見踊り」と「供奴」を演奏します。お楽しみください。

元禄花見踊り

作詞:竹柴瓢助 作曲:三世杵屋正治郎

明治時代に出来た長唄の傑作のひとつで、元禄期の華やかな花見の様子を描いています

吾妻路を

連れて 着つれて行く袖も たんだ振れ振れ 六尺袖の しかも鹿の子の 心り袖模様
裾に八つ橋染めても見たが ヤンレほんぼにさうかいな そさま紫色も濃い
ヤンレそんれはさうちやいな 手先き揃へてざざんざの 音は濱松よんやさ
花見するとて熊谷笠よ 飲むも熊谷 武蔵野でござれ

月に兎は和田酒盛の 黒い盃闇でも嬉し 腰に瓢箪 毛巾着 酔うて踊るが
よいよいよいよいよいやさ

武蔵野名物月のよい晩は をかた鉢巻蝙蝠羽織 無反角鉤角内連れて
ととは手細に伏編笠で 踊れ踊れや 布つく杵も 小町踊の 伊達道具
よいよいよいよいよいよいやさ 面白や

入り来る入り来る櫻時 永富東叡人の山 弥が上野の花盛

皆清水の新舞台 賑はしかりける次第なり

(一部抜粋)

供奴

作詞:二世瀬川如皐 作曲:十世杵屋六左衛門(四世杵屋三郎助)

吉原に行く主人のお供をしていた奴がはぐれてしまい、主人を探すというストーリーです

仕て来いな やっちゃ仕て来い今夜の御供 ちっと後れて出かけたが

足の早いに 我が折れ田圃は近道 見はぐるまいぞよ 合点だ

振って消しやるな台提灯に 御定紋付でっかりと

ふくれた紺のだいなしは 伊達に着なしたやっこらさ

武家の気質や奉公根性 やれさていっかな出しゃしょない

ひびやあかぎれかかとや脛に 富士の雪程あるととも

何時限らぬ お使ひは かかさぬ正直 正道者よ

脇よれ 頼むぞ 脇よれと 急ぎ廓へ 一目散 息を切つてぞ駆け付ける

おんらが旦那はな 廓一番隠れないない

丹前好み 華奢に召したる 腰巻羽織 きりりとしゃんと しゃんときりりと

高股立の袴つき 後に下郎がお草履取つて それさ これさ

小気味よいよい六法振が 浪花師匠のその風俗に 似たか 似たぞ 似ましたり

さてさてな 寛潤華麗な出で立ち

面白や 浮かれ拍子に乗りが来て ひょっくり旦那に捨てられた

うろたへ眼で提灯を つけたり消したり灯したり 揚屋が門(かど)を行き過ぎる

(一部抜粋)

2019/4/7 唄 杵屋輝久世 三味線 今藤佐知保

彦根:藤原・臼井 松山:村上

東京:藤井 大阪:栗棟

♪いい音ひこ音は彦根で日本の伝統を楽しむ活動をしています

長唄三味線教室 月2回、袋町「料亭小島」にてお稽古
また、着物を着てお祝い会や浴衣会も開催
屋形船 de 長唄三味線 不定期で彦根城屋形船上にてライブ活動
※今後さまざまな活動を展開していきます 是非ご参加ください

指導 長唄三味線方 今藤佐知保 sachihonImafuji
お稽古場所 大阪市・愛媛県松山市・彦根市・東京都墨田区

URL <http://www.kyan-net.com/>

メール iine.hikone@gmail.com

TEL 090-1577-6388

♪いい音ひこ音のおすすめ

～ゆらっと周遊～
彦根城お堀めぐり

彦根城屋形船

彦根城のお堀をゆったり楽しむ屋形船はたくさんの定期便を運航しています。
でも、特別な楽しみ方もあることをご存知ですか？
例えば…、お友達と一緒に食事を楽しんだり、船上でお茶会を開催したり…。
あなただけの彦根城屋形船タイム、いかがでしょうか？



ご予約・お問合せ
☎080-1461-4123
受付時間 9:30～17:00
※内容によってはお受け
できないこともございます
ご了承くださいませ

埋木舎 (うもれぎのや) 彦根市尾末町 1-11

彦根城の佐和口多門櫓向い側にあるこの屋敷は井伊直弼公が青年時代
(十七歳から三十二歳)を過ごした場所です。
直弼公は「世の中をよそに見つとも埋れ木の埋もれておらむ心なき身は」
と詠み、「埋木舎(うもれぎのや)」と名付けた。ここで武術だけでなく、
茶道、和歌、謡曲・鼓、さらに国学、書、画、焼き物、禅、仏教など、
文武両道の修養を深めました。



営業: 9:00～17:00
入館は 16:30 まで
入館料: 300円